

わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」 に関する文献リスト (2013)

Bibliography of the intensive group experience
and group psychotherapy in Japan : 2013

野島 一彦
跡見学園女子大学
文学部臨床心理学科
Kazuhiko Nojima
Faculty of Letters, Atomi University

坂中 正義
南山大学
人文学部心理人間学科
Masayoshi Sakanaka
Faculty of Humanities, Nanzan University

I. はじめに

本文献リスト・シリーズでは、1989年までは「集中的グループ経験」「集団精神療法」のリストは別々に作成されているが、1990年からは2つのジャンルは一緒に収録されている。以下にこれまでのリストを示す。

● 「集中的グループ経験」に関する文献リスト (～1989)

- (1) 野島一彦 1983 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (～1969) 一付：グループ関係者 (団体) 名簿 [1982年12月現在] 福岡大学人文論叢, 14(4), 1457-1479.
- (2) 野島一彦 1980 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1970～1980) 九州大学教育学部心理教育相談室紀要, 6, 69-93.
- (3) 野島一彦 1982 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1981) 一付：同リスト [1970～1980] の追録 九州大学心理臨床研究, 1, 87-95.
- (4) 野島一彦 1983 わが国の「集中的

グループ経験」に関する文献リスト (1982) 一付：同リスト [1970～1981] の追録九州大学心理臨床研究, 2, 107-115.

- (5) 野島一彦 1984 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1983) 一付：同リスト [～1982] の追録およびグループ関係者 (団体) 名簿 [1983年12月現在] 福岡大学人文論叢, 15(4), 1479-1515.
- (6) 野島一彦 1985 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1984) 一付：同リスト [～1983] の追録およびグループ関係者 (団体) 名簿 [1984年12月現在] 福岡大学人文論叢, 16(4), 1527-1563.
- (7) 野島一彦 1986 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1985) 一付：同リスト [～1984] の追録 福岡大学人文論叢, 17(4), 775-790.
- (8) 野島一彦 1987 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト (1986) 一付：同リスト [～1985] の追録 福岡大学人文論叢, 18(4), 901

- 914.
- (9) 野島一彦 1988 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1987) —付:同リスト〔~1986〕の追録 福岡大学人文論叢, 19(4), 981-994.
- (10) 野島一彦 1989 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1988) —付:同リスト〔~1987〕の追録 福岡大学人文論叢, 20(4), 1391-1411.
- (11) 野島一彦 1990 わが国の「集中的グループ経験」に関する文献リスト(1989) —付:同リスト〔~1988〕の追録 福岡大学人文論叢, 21(4), 1669-1687.
- 「集団精神療法」に関する文献リスト (~1989)
- (1) 野島一彦 1991 わが国の「集団精神療法」に関する文献リスト (~1989) —そのⅠ:単行本, 研究論文 福岡大学人文論叢, 23(2), 501-533.
- (2) 野島一彦 1991 わが国の「集団精神療法」に関する文献リスト (~1989) —そのⅡ:学会発表, 翻訳, 書評, 海外文献紹介 福岡大学人文論叢, 23(3), 801-832
- 「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1990~)
- (1) 野島一彦 1991 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1990) 福岡大学人文論叢, 22(4), 1115-1147.
- (2) 野島一彦 1992 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1991) 福岡大学人文論叢, 23(4), 1087-1124.
- (3) 野島一彦 1993 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1992) 福岡大学人文論叢, 24(4), 1343-1382.
- (4) 野島一彦 1994 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1993) 福岡大学人文論叢, 25(4), 1805-1834.
- (5) 野島一彦 1995 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1994) 福岡大学人文論叢, 26(4), 1809-1834.
- (6) 野島一彦 1996 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1995) 福岡大学人文論叢, 27(4), 2049-2074.
- (7) 野島一彦・坂中正義 1997 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1996) 九州大学心理臨床研究, 16, 81-99.
- (8) 野島一彦・坂中正義 1998 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1997) 九州大学心理臨床研究, 17, 99-112.
- (9) 野島一彦・坂中正義 1999 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1998) 九州大学心理臨床研究, 18, 135-150.
- (10) 野島一彦・坂中正義 2000 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト (1999) 九州大学心理臨床研究, 19, 103-120.
- (11) 野島一彦・坂中正義 2001 わが国の

- の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2000）
九州大学心理臨床研究，20，103-120.
- (12) 野島一彦・坂中正義 2002 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2001）
九州大学心理臨床研究，21，151-168.
- (13) 野島一彦・坂中正義 2003 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2002）
九州大学心理臨床研究，22，207-223.
- (14) 野島一彦・坂中正義 2004 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2003）
九州大学心理臨床研究，23，131-143.
- (15) 野島一彦・坂中正義 2005 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2004）
九州大学心理臨床研究，24，117-128.
- (16) 野島一彦・坂中正義 2006 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2005）
九州大学心理臨床研究，25，137-153.
- (17) 野島一彦・坂中正義 2007 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2006）
九州大学心理臨床研究，26，251-268.
- (18) 野島一彦・坂中正義 2008 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2007）
九州大学心理臨床研究，27，137-152.
- (19) 野島一彦・坂中正義 2009 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2008）
九州大学心理臨床研究，28，165-179.
- (20) 野島一彦・坂中正義 2010 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2009）
九州大学総合臨床心理研究，2，101-121.
- (21) 野島一彦・坂中正義 2011 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2010）
九州大学総合臨床心理研究，3，185-198.
- (22) 野島一彦・坂中正義 2013 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2011）
九州大学総合臨床心理研究，4，143-162.
- (23) 野島一彦・坂中正義 2013 わが国の「集中的グループ経験」と「集団精神療法」に関する文献リスト（2012）
跡見学園女子大学附属心理教育相談所紀要，9，3-18.
- 今回のリストは、「集中的グループ経験」と「集団精神療法」の2013年（1月～12月）の文献を収録している。また、これまでのリストにもれたものを追録という形で収録している。

第I部：「集中的グループ経験」

「集中的グループ経験」には、感受性訓練（ST）、Tグループ、ラボトリー・トレーニング、グループ・カウンセリング、健康増進セミナー、自己発見のための合宿セミナー、自己との出会いのためのグループ合宿、エンカウンター・グループ、グループ・アプローチ、Lグループ、IPR、CST、行動集団カウンセリング、ゲシュタ

ルト療法, 交流分析等が含まれる。主に<成長>, <訓練>を目的とするグループである。

2013年の概況は次のようである。単行本は, 3冊刊行された。研究論文は, 36本で前年より減少した。学会発表(口頭発表)は, 日本心理臨床学会で25本, 日本カウンセリング学会で18本, 日本人間性心理学会で8本, 日本集団精神療法学会で3本, 日本教育心理学会で2本で, 前年より減少した。翻訳(単行本)は, 発行されなかった。

A. 単行本

1. 福山清蔵 2013 対人援助のためのグループワーク 誠信書房
2. 福山清蔵 2013 対人援助のためのグループワーク2 誠信書房
3. 武藤由佳 2013 構成的グループ・エンカウンターによる心理教育的援助 風間書房

B. 研究論文

1. 新居みちる 2013 認知/行動療法の理論を手がかりとしたグループ・アートセラピーの援助効果の検討—復職支援デイケアにおけるうつ病および社会不安を抱える休職者への実践から— 心理臨床学研究, 31(1), 83-94.
2. 増野 肇 2013 今必要なグループワーク 精神療法, 39(3), 2-3.
3. 中尾陽子 2013 ラボラトリー方式の体験学習を通して得られる気づきに関する検討 人間関係研究, (12), 31-70.
4. 野島一彦 2013 大学院におけるエンカウンター・グループ・ファシリテーター養成プログラム 跡見学園女子大学文学部臨床心理学科紀要, 1, 43-51.

ター養成プログラム 跡見学園女子大学文学部臨床心理学科紀要, 1, 43-51.

5. 新開佳子 2013 PCAグループ初めてのファシリテーター体験記 東亜大学大学院総合学術研究科臨床心理相談研究センター紀要, 13, 65-68.
6. 渡辺 元・北田朋子・村山正治 2013 看護学校におけるPCAグループファシリテーター体験報告 東亜大学大学院総合学術研究科臨床心理相談研究センター紀要, 13, 95-98.

C. 学会発表

1. 相原 誠 2013 大学生におけるPCAグループ体験の意味 日本カウンセリング学会第46回大会
2. 麻生典子 2013 虐待予防における身体接触を用いたペアレントトレーニングの実践—養育困難な母親を対象として— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 369.
3. 千原雅代・酒井 生他 2013 小学校における教員支援プログラムの実践的作成—見立てによって関係性の改善を支援する— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 414.
4. 福地直哉・浅井未百 2013 東日本震災後の福島における若者を対象としたピアサポートの実践グループアプローチによる“自己への気づき”と“他者との出会い”の場の創造— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 198.
5. 原田恵理子・渡部弥生 2013 高校生を対象とするSSTの効果の検討—教職課程の学生を含む授業者の違いに焦点をあてて— 日本カウンセリング学会第46回

大会

6. 平宮正志 2013 詩作活用エクササイズと孤独感に関する一研究 日本カウンセリング学会第46回大会
7. 本間恵美子・斉藤まさ子他 2013 ひきこもり親の会における参加者の変化に関する調査研究 日本カウンセリング学会第46回大会
8. 池田豊應・鈴木規浩他 2013 不登校生徒のためのグループ・アプローチ(13) —各メンバーの成長をめぐって— 日本人間性心理学会第32回大会発表論文集, 80-81.
9. 稲垣応顕・松井理納他 2013 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(61) —アサーション度の向上と学級適応に関する事例検討— 日本カウンセリング学会第46回大会
10. 井上美沙・高岡しの他 2013 大学生に対するうつ予防プログラムのランダム化比較試験(1) —集団認知行動療法の介入効果— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 329.
11. 井ノ山正文・田上不二夫 2013 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(62) —環境調整を目的とした学級支援の取組— 日本カウンセリング学会第46回大会
12. 伊藤 孝・中村恵子他 2013 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり(57) —小学校生活における充実感の要因— 日本カウンセリング学会第46回大会
13. 井山綾子・末原有紀他 2013 児童相談所における一時保護児グループの試み(3) —一時保護中の学齢児を対象とした、「セカンドステップ」によるグループワークの実践報告— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 483.
14. 加本有希・関戸直子他 2013 私達を探してください! —児童期女子グループにおける「かくれんぼ」— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 277.
15. 兼藤正一郎・永澤道代他 2013 ペアレント・トレーニング・プログラムを活用した地域発達支援の臨床③ペアレント・トレーニングとティーチャー・トレーニングの相違について 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 141.
16. 金子周平 2013 パーソンセンタード・アプローチによる教師へのアサーション研修の効果 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 318.
17. 金子周平 2013 看護学生がワークへの参加の仕方を選択するエンカウンター・グループ—安全感と気づきのファシリテーション— 日本人間性心理学会第32回大会発表論文集, 134-135.
18. 菅野絵里子 2013 発達障害児の親を対象としたペアレントトレーニングの効果—「前向き子育てプログラム (TripleP)」の実践から— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 344.
19. 荻間澤勇人・河村茂雄 2013 高校入学時におけるグループアプローチを用いた援助—新入生の予期不安への介入— 日本カウンセリング学会第46回大会
20. 河村茂雄 2013 育てるカウンセリング—國分記念賞受賞者講演:学級集団とグループ・アプローチ— 日本カウンセリング学会第46回大会
21. 黒木幸敏 2013 中学校でのアサーシ

- ョン・トレーニングを中心とした心理教育の実践 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 53.
22. 前出経弥 2013 漢字表現グループの試みとその意義—グループによる漢字フォーカシングと付箋を用いることの意味— 日本人間性心理学会第32回大会発表論文集, 158-159.
23. 松井宏樹・兼藤正一郎他 2013 ペアレント・トレーニング・プログラムを活用した地域発達支援の臨床①ペアレント・トレーニングの効果および保護者の認識/行動の変容過程 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 139.
24. 松澤裕子・田上不二夫 2013 対人関係ゲームによる学級の間人関係づくり(63)—児童主体のゲーム展開を支援する取り組み— 日本カウンセリング学会第46回大会
25. 末原有紀・中村真理他 2013 児童相談所における一時保護児グループの試み(2)—一時保護中の幼児を対象とした、「セカンドステップ」によるグループワークの実践報告— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 482.
26. 水野邦夫 2013 継続・研修型SGEにおける参加者の気分の変化—深まり・モチベーションについて考える— 日本カウンセリング学会第46回大会
27. 長野恵子・西村麻希他 2013 県外からの避難者に対するグループ支援活動のプロセス 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 294.
28. 永澤道代・松井宏樹他 2013 ペアレント・トレーニング・プログラムを活用した地域発達支援の臨床②ティーチャー・トレーニングのあり方, 進め方の一考 日本心理臨床学会, 第32回大会論文集, 140.
29. 永田陽子・櫃田紋子 2013 災害被災児とその支援者に対するピアサポートプログラム—被災地における『シルバーライニング』の導入と実践効果の検討— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 44.
30. 中村麻衣子・中村扶実子 2013 高校におけるピアカウンセラー養成プログラムの検討(1)—2012年度のプログラムの評価— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 373.
31. 中村扶実子・中村麻衣子 2013 高校におけるピアカウンセラー養成プログラムの検討(2)—複数年受講生用プログラムの開発— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 374.
32. 中村恵子・伊藤 孝他 2013 対人関係ゲームによる学級の間人関係づくり(58)—中学校生活における充実感の要因— 日本カウンセリング学会第46回大会
33. 中植満美子・小泉 誠他 2013 不適応行動のある児童養護施設入所児童への集団療法その2 施設内での集団療法実施に求められる要因とその課題 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 240.
34. 根塚明子 2013 適応指導教室における心理的援助臨床心理士の専門性を活かすこと 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 202.
35. 日本カウンセリング学会(第46回) 2013 集団バランスの中で対人関係の成熟を促す対人関係ゲーム(4)—青年期における対人関係ゲームの活用—

- 西澤佳代・瀧澤洋司（企画者）
吉岡典彦・小池良江他（話題提供者）
日本カウンセリング学会第46回大会
36. 日本人間性心理学会（第32回） 2013
自主企画シンポジウム〈グループ・ファ
シリテーター体験を語り合う集い〉
野島一彦（企画者）
岡村達也・坂中正義・高橋紀子・金子
周平（話題提供者）
日本人間性心理学会第32回大会発表論
文集，56-57.
37. 野島一彦 2013 大学院におけるエン
カウンター・グループ・ファシリテ
ーター養成プログラム 日本集団精神療法
学会第30回大会抄録集，22.
38. 岡林春雄 2013 コミュニケーション
スキルトレーニングの実践-自尊感情の
変容は？— 日本人間性心理学会第32回
大会発表論文集，76-77.
39. 大森眞澄・青戸由理子 2013 精神科
新任看護師のためのサポートグループの
実践 日本集団精神療法学会第30回大会
抄録集，23.
40. 大野 保・松田秀子 2013 アサーシ
ョントレーニングを取り入れた高等学校
英語教育による自尊感情向上効果に関す
る実験研究 日本カウンセリング学会第
46回大会
41. 榎 恵子 2013 ピア・グループにお
ける同質性と異質性-精神看護学教員グ
ループ体験— 日本集団精神療法学会第
30回大会抄録集，21.
42. 下垣佳央里・相馬誠一 2013 教育支
援センター（適応指導教室）におけるグ
ループ・アプローチを用いた実践的研究
日本心理臨床学会第32回大会論文
集，516.
43. 鈴木亮子 2013 介護者への心理社会
的アプローチとしての家族支援プログラ
ム—認知症における心理教育— 日本心
理臨床学会第32回大会論文集，350.
44. 鈴木郁子 2013 ラボラトリー方式の
体験学習におけるシェアリングの効果の
検討—教員研修における認知行動療法的
手法の活用— 日本教育心理学会第55回
総会
45. 田上不二夫・中村恵子他 2013 対人
関係ゲームによる学級の間関係づくり
（56）—小・中学校生活における充実感
— 日本カウンセリング学会第46回大会
46. 高橋紀子 2013 ファシリテーション
研修会におけるオーガナイザーの役割—
理論的背景，実践領域の違うファシリ
テーターの集まる場作りの試み— 日本
人間性心理学会第32回大会発表論文集，
86-87.
47. 高岡しの・井上美沙他 2013 大学生
に対するうつ予防プログラムのランダム
化比較試験(2) —集団認知行動療法の5
ヶ月フォローアップにおける維持効果—
日本心理臨床学会第32回大会論文
集，330.
48. 高岡しの・猪澤 歩他 2013 女子短
大生に対するグループワークプログラム
実践の試み 日本教育心理学会第55回総
会
49. 塚瀬将之・天笠ジェイムスジョンソン
他 2013 児童期男子グループにおける
子どもの対立とその変容過程 日本心理
臨床学会第32回大会論文集，276.
50. 徳永淑乃 2013 児童福祉施設職員の
PCAグループ体験に関する一考察 日本

人間性心理学会第32回大会発表論文集, 148-149.

51. 富家直明・新川広樹他 2013 定時制高校における映画制作活動を通じたソーシャルスキル教育の試み 日本カウンセリング学会第46回大会
52. 内田圭子・田上不二夫 2013 対人関係ゲームによる学級の間人関係づくり(59) 一高校生のスクール・モラルに関する縦断的研究— 日本カウンセリング学会第46回大会
53. 山縣真由美・杉山秀樹 2013 認知症病棟でのグループ回想法の試み 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 282.
54. 山本 奨 2013 高校生のストレスマネジメントにおけるワークシートと話し合い活動の効果—対処行動レパトリー拡大のためのプログラムによる検討— 日本カウンセリング学会第46回大会
55. 湯本幸平・末原有紀他 2013 児童相談所における一時保護児グループの試み(1) —一時保護中の学齢児を対象とした, コラージュによるグループワークの実践報告— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 481.
56. 湯本幸平 2013 市役所職員を対象としたグループアプローチの実践報告—PCAGIP法で育てる “元気の芽”— 日本人間性心理学会第32回大会発表論文集, 116-117.

D. 翻訳

[該当文献なし]

E. 書評

[該当文献なし]

F. 海外文献紹介

[該当文献なし]

付: 「集中的グループ経験」に関する文献リスト [~2012] の追録

A. 単行本

[該当文献なし]

B. 研究論文

1. 安部恒久 2012 ファシリテーター/コ・ファシリテーター 日本人間性心理学会編「人間性心理学ハンドブック」(創元社), 393.
2. 平野信喜 2012 セルフ・ヘルプグループ 日本人間性心理学会編「人間性心理学ハンドブック」(創元社), 350-351.
3. 鎌田道彦・志村万由美 2011 学校内で不登校生徒の保護者会を実施することの意味に関する考察—学校組織の不登校対策の充実に向けて— 東亜臨床心理学研究, 10(1), 21-34.
4. 松浦光和 2012 Basic Encounter Group経験の効果についての実証的な研究 宮城学院女子大学研究論文集, 114, 1-7.
5. 松浦光和・坂原明 2012 Basic Encounter Group参加者の所感の分類 宮城学院女子大学研究論文集, 114, 9-24.
6. 松永邦弘 2012 大学での不登校の子どもに対する集団活動を通じた支援—集団活動プログラムによる支援とその意義— カウンセリング研究, 45(3), 184-193.
7. 本山智敬 2012 ラホイヤ・プログラ

- ム 日本人間性心理学会編「人間性心理学ハンドブック」(創元社), 425.
8. 村上博志 2012 グループ・フォーカシングのこれまでの展開と今後の展望について 九州大学総合臨床心理研究, 4, 111-118.
 9. 中地展生 2012 日本における不登校児の親グループ研究の文献展望—1990～2010年を対象に— カウンセリング研究, 45(4), 239-247.
 10. 西村 馨・菊池雅彦 2012 中学校通級指導学級がもつグループの力 心理臨床学研究, 30(4), 467-477.
 11. 岡本茂樹 2012 グループワークと交換ノートを用いた殺人を犯した受刑者に対する心理的支援 心理臨床学研究, 30(4), 559-570.
 12. 高松 里 2012 サポート・グループ 日本人間性心理学会編「人間性心理学ハンドブック」(創元社), 318-319.
 4. 北川 恵 2012 The Circle of Security program に参加した母親アタッチメント表象の変化 日本心理臨床学会第31回大会論文集, 577.
 5. 毛利真弓・下郷大輔他 2012 刑務所における対話グループと受刑者の変化—犯罪行動変化の過程に臨床心理士がどのように関われるか— 日本心理臨床学会第31回大会論文集, 136.
 6. 日本心理臨床学会(第31回)2012自主シンポジウム〈ゲシュタルト療法と若手の臨床実践—医療, 大学院教育, 発達障害者支援—)
細越寛樹(企画者)
原谷直樹(司会者)
中西美和・細越寛樹・志野静穂(話題提供者)
倉戸ヨシヤ・井上文彦・倉戸由紀子・中西龍一・利根川雅弘(指定討論者)
日本心理臨床学会第31回大会論文集, 708.

C. 学会発表

1. 千原美重子 2012 学生への対人関係トレーニングが及ぼす心理的提供～特に実施後の基本的信頼感の分析から～ 日本教育心理学会第54回総会
園田雅代(企画・司会者)
黒木幸敏(話題提供者)
中釜洋子(話題提供者)
豊田英昭(話題提供者)
2. 石川悦子・檜木啓二他 2012 大学における発達障害学生への支援(第2報)—グループ活動(WADS)における卒業生との交流— 日本心理臨床学会第31回大会論文集, 105.
3. 唐澤由理 2012 集団コラージュの復職支援への導入—集団・集団法と集団・個人法とを組み合わせたプログラムの試み— 日本心理臨床学会第31回大会論文集, 93.
7. 日本教育心理学会(第54回総会)2012 自主企画シンポジウム〈教育現場でのアサーション・トレーニング〉
日本教育心理学会第54回総会プログラム

D. 翻訳

[該当文献なし]

E. 書評

[該当文献なし]

F. 海外文献紹介

〔該当文献なし〕

第Ⅱ部：「集団精神療法」

「集団精神療法」には、集団心理療法、グループ・セラピー、心理劇（サイコドラマ）、活動集団療法、集団遊戯療法、集団分析、グループワーク、治療キャンプ、集団絵画療法、音楽療法、生活技能訓練（SST）、デイケア、治療共同体、ソーシャル・クラブ、セルフ・ヘルプ・グループ、ダンス療法、グループ連動表現療法、レクリエーション療法等が含まれる。主にく治療を目的とするグループである。

2013年の概況は次のようである。単行本は1冊刊行された。研究論文は、67本で前年より増加した。学会発表（口頭発表）は、日本集団精神療法学会で35本、日本心理臨床学会で24本、日本教育心理学会で10本、日本カウンセリング学会で5本、日本人間性心理学会で4本、日本心理学会で4本、日本産業カウンセリング学会で1本で前年より増加した。翻訳（単行本）は発行されなかった。

A. 単行本

1. 高良 聖 2013 サイコドラマの技法—基礎・理論・実践— 岩崎学術出版社

B. 研究論文

1. 安里勝人・中村由香里 2013 当院におけるアルコール依存症入院治療プログラムと自助グループとの連携について—グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いた自助グループへ繋がるプロセスの探索— 集団精神療法, 29(2), 183

-189.

2. 築田昌明・横山太範他 2013 多様化するうつ病に対する集団精神療法(2) 集団認知行動療法, バーバルグループ, アクショングループの比較 集団精神療法, 29(2), 148-153.
3. 藤澤美穂 2013 岩手県沿岸部の仮説住宅コミュニティ支援と、支援チームというグループ 集団精神療法, 29(1), 54-60.
4. 古川弘子 2013 サハラより自戒を込めて 集団精神療法, 29(1), 90.
5. 荻原加奈美・山口香織他 2013 学習グループ 2012年度活動報告 医療法人コミュニティ風と虹2012年度臨床活動報告論文集, 87-90.
6. 原 敬造 2013 被災地での地域精神保健の新たな取り組み—からころステーションの実践から— 集団精神療法, 29(1), 68-73.
7. 樋掛忠彦 2013 コミュニティと集団精神療法 集団精神療法, 29(2), 122-126.
8. ひいらぎ 2013 日本AAに求めるもの—一人のAAメンバーの意見として— 集団精神療法, 29(2), 262-268.
9. 平島奈津子・衛藤暁美・長井友子 2013 集団認知行動療法に対する力動的な理解の効用—グループ・スーパービジョンを通して— 集団精神療法, 29(2), 176-182.
10. 平野直己・松田 考 2013 地域におけるニート・ひきこもりの若者への自立支援：人はひとりで立つが故に共に立つ 集団精神療法, 29(1), 31-37.
11. 堀 有伸 2013 福島県相馬市の現状

- についての報告 集団精神療法, 29 (1), 61-67.
12. 池田耕平・矢野夕紀他 2013 2012年度「措置ミーティング」活動報告 医療法人コミュニテ風と虹2012年度臨床活動報告論文集, 91-93.
 13. 池田真人 2013 コミュニティ体験とグループ体験—集団精神療法家と集団精神療法家の課題として— 集団精神療法, 29(2), 212-216.
 14. 今泉伸一・塚本泰一他 2013 2012年度 のみもの依存症グループ活動報告 医療法人コミュニテ風と虹2012年度臨床活動報告論文集, 79-82.
 15. 甲斐千穂・山口禮子他 2013 2012年度「薬物依存症者のための勉強会」活動報告 医療法人コミュニテ風と虹2012年度臨床活動報告論文集, 60-63.
 16. 梶本浩史・橋 馨他 2013 〈こうえん〉—そこにあるように— 集団精神療法, 29(2), 134-136.
 17. 梶本浩史 2013 グループに求めるもの 集団精神療法, 29(2), 251-256.
 18. 柿田充弘・三沢 緑 2013 特別企画「行列のできるグループ相談所」を開催して—地域でのグループと集団精神療法をめぐる思い— 集団精神療法, 29(2), 217-221.
 19. 鴨澤あかね 2013 国際集団精神療法 集団過程学会 (IAGP) 集団精神療法, 29(1), 93-94.
 20. 鴨澤あかね 2013 産業メンタルヘルス活動における集団への働きかけ—個人の生き残りと発展のために— 集団精神療法, 29(1), 17-23.
 21. 鴨澤あかね・嶋田博之 2013 機能的サブグループ (functional subgrouping) を体験する—SCTの手法の体験的理解について— 集団精神療法, 29(2), 142-147.
 22. 金子真樹・鶴 泰宏他 2013 2012年度ソーシャルライジングクラブ活動報告 医療法人コミュニテ風と虹2012年度活動報告論文集, 98-102.
 23. 菊池清美・堀川百合子他 2013 2012年度ウイメンズグループ活動報告 医療法人コミュニテ風と虹2012年度臨床活動報告論文集, 68-70.
 24. 北西憲二 2013 仕事への関わりと集団—森田療法の立場から 集団精神療法 29(1), 9-16,
 25. 北野祥子・古賀 聡 2013 認知障害を抱える女性高齢患者への心理劇の適用 心理臨床学研究, 31(2), 257-267.
 26. 古賀禎也 2013 のぞえ総合心療病院との出会いによって, 私が得たもの 集団精神療法, 29(1), 96.
 27. 古賀禎也・馬群芳弥他 2013 2012年度ギャンブルグループ活動報告 医療法人コミュニテ風と虹2012年度活動報告論文集, 94-97.
 28. 高良 聖 2013 国際会議に想う 集団精神療法, 29(1), 67.
 29. 高 富栄・二ノ宮正人他 2013 急性期病棟・外来グループの実践と意義—病棟と, 地域と, グループと— 集団精神療法, 29(2), 137-141.
 30. 小森康永 2013 集団と家族, そのユビキタスなもの 集団精神療法, 29(2), 127-133.
 31. 真弓里砂・連理貴司他 2013 2012年度家族支援プログラム活動報告 医療法

- 人コミュニテ風と虹2012年度臨床活動報告論文集, 76-78.
32. 三上いづみ・権 成鉉他 2013 永遠という時に浸る集団 集団精神療法, 29(2), 222-226.
 33. 三上いづみ・太田裕一他 2013 集団精神療法における転移—逆転移: 複数の治療者という構造がグループに与える影響, 治療者側が受ける影響—精神科慢性疾患の力動的集団精神療法の会— 集団精神療法, 29(2), 164-169.
 34. 森 智秀・長田舞子他 2013 2012年度ゲーム・ネット依存グループ活動報告 医療法人コミュニテ風と虹2012年度活動報告論文集, 103-107.
 35. 仲本晴男 2013 慢性うつ病に対する集団認知行動療法の適応—スキーマに関する考察を中心に— 精神療法, 39(1) 特集精神療法の適応, 91-95.
 36. 西村 馨 2013 多元コード理論から見た心理療法グループの情緒的コミュニケーション 心理臨床学研究, 31(1), 60-71.
 37. 西村 馨 2013 集団精神療法—現在に回帰する本質的問いとして— 精神療法, 39(2), 71-82.
 38. 西崎 淳 2013 個人と集団 集団精神療法, 29(1), 6.
 39. 岡崎 翼 2013 栃木県グループサイコセラピー研究会 集団精神療法, 29(1), 95-96.
 40. 大越拓郎・樋掛忠彦他 2013 アルコール依存症の入院治療病棟における「心理ミーティング」の試み 集団精神療法, 29(2), 238-242.
 41. 大宮秀淑 2013 慢性期統合失調症患者に対する集団認知機能改善療法(CRT)の実践報告—error learningの必要性— ころの健康, 28(2), 68-70.
 42. 大森真澄・青戸由理子 2013 精神科新任看護師のためのサポートグループの実践 集団精神療法, 29(2), 170-175.
 43. 太田倫代 2013 グループが再生を踏み出すとき—デイケア集団音楽療法の中で— 集団精神療法, 29(2), 232-237.
 44. 落合尚美・石附牧子 2013 グループにおける地域コミュニティの表現と欠如—地域性の異なる二つの小集団精神療法の実践から— 集団精神療法, 29(2), 200-205.
 45. 才田康成・吉川紗加他 2013 2012年度生活習慣改善グループ活動報告 医療法人コミュニテ風と虹2012年度臨床活動報告論文集, 83-86.
 46. 坂口信貴 2013 治療共同体を基盤にした集団精神療法—そのパーソナリティ障害への適用— 精神療法, 39(1) 特集精神療法の適応, 35-39.
 47. 関 百合・水田博子 2013 グループアナリシス・体験グループワークショップ報告 —ミディアングループのなかで集団と個人を語り合う— 集団精神療法, 29(2), 159-163.
 48. 重松順子・山口まどか他 2013 2012年度うつ病の集団精神療法(Dグループ)活動報告 医療法人コミュニテ風と虹2012年度臨床活動報告論文集, 71-75.
 49. 白波瀬丈一郎 2013 産業精神保健活動に, 集団力動理論を具現化する取り組み—活動現場が「心理学的になる」ことを目指して— 集団精神療法, 29(1), 38-44.

50. 設樂友崇 2013 国際力動的心理療法研究会 第18回年次大会 集団精神療法, 29(1), 91-92.
51. 「集団精神療法」(第29巻第1号) 2013 <特集2 東日本大震災からの復興に向けて(第2報)>
 「東日本大震災からの復興に向けて(第2報)」に寄せて(西村 馨)
 東日本大震災関係者の相互支援グループⅢ (田原明夫他)
 岩手県沿岸部の仮説住宅コミュニティ支援と、支援チームというグループ(藤澤美穂)
 福島県南相馬市の現状についての報告(堀 有伸)
 被災地での地域精神保健の新たな取り組み—からころステーションの実践から—(原 敬造)
 集団精神療法, 29(1), 45-73.
52. 「集団精神療法」(第29巻第1号) 2013 <特集1 産業メンタルヘルス活動に『集団』を活かす>
 特集にあたって(白波瀬丈一郎)
 仕事への関わりと集団-森田療法の立場から(北西憲二)
 産業メンタルヘルス活動における集団への働きかけ—個人の生き残りと発展のために—(鴨澤あかね)
 リワークプログラムの観点から(横山太範)
 地域におけるニート・ひきこもりの若者への自立支援:人はひとりで立つが故に共に立つ(平野直己他)
 産業精神保健活動に、集団力動理論を具現化する取り組み—活動現場が「心理学的になる」ことを目指して—(白波瀬丈一郎)
53. 田原明夫・高林健示他 2013 東日本大震災関係者の相互支援グループⅢ 集団精神療法, 29(1), 47-53.
54. 高林健示・藤 信子他 2013 東日本大震災関係者の相互支援グループ報告—心的外傷の孤立化を対話により克服する場として— 集団精神療法, 29(2), 154-158.
55. 高橋 馨 2013 こもればミーティングがもたらしたもの—ワタシにカッコをつけないで— 集団精神療法, 29(2), 190-194.
56. 武井麻子 2013 巻頭言:3.11と人間の絆 集団精神療法, 29(1), 4-6.
57. 田辺 等 2013 2つの受容を巡って—集団精神療法の立場から— 精神療法, 39(6), 42-47.
58. 手塚千恵子・田中優子 2013 地域で実施され、精神分析的に方向づけられた子ども虐待防止母親グループ 集団精神療法, 29(2), 206-211.
59. 月江ゆかり 2013 グループの中での出会い,自分との出会い 集団精神療法, 29(2), 257-261.
60. 徳永浩子・古賀禎也他 2013 2012年度ACグループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹2012年度臨床活動報告論文集, 56-59.
61. 上田玲実・川口玲華他 2013 2012年度摂食障害グループ活動報告 医療法人コミュニティ風と虹2012年度臨床活動報告論文集, 64-67.
62. 上枝加乃・宮本真由美他 2013 集団精神療法により隔離室使用が減少した統

- 合失調症の一例 集団精神療法, 29 (1), 74-79.
63. 渡部京太 2013 グループに求めること—児童精神科病棟の子どもの変化からみえてくること— 集団精神療法, 29 (2), 244-250.
64. 山口まどか・堀口公平他 2013 入院治療期間の短縮化と患者—スタッフミーティング 集団精神療法, 29(2), 195-199.
65. 山口まどか・中村 桂他 2013 2012年度アルコールグループ活動報告 医療法人コミュニテ風と虹2012年度臨床活動報告論文集, 51-55.
66. 山下陽三 2013 「鳥取ダルクを見守る会」の5年間を振り返る集団精神療法, 29(2), 227-231.
67. 横山太範 2013 リワークプログラムの観点から 集団精神療法, 29(1), 24-30.
4. 濱中恵子 2013 家族と共同で行う家族SSTセミナー(家族心理教育)の実践報告家族がエンパワメントする姿から支援従事者が学んだこと 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 267.
5. 原田恵里子・矢代幸子 2013 ネットいじめの予防を目的としたソーシャルスキルトレーニング 日本教育心理学会第55回総会
6. 林 弥生・熊谷芳美他 2013 地域の教育相談における発達支援としてのグループ活動(1) —発達障害を中心としたサポートグループの5年間の試み— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 653.
7. 樋掛忠彦 2013 大会長講演: コミュニティと集団精神療法 日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 19.
8. 平島奈津子・衛藤暁美他 2013 集団認知行動療法に対する力動的な理解の効用—グループ・スーパービジョンを通して— 日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 24.
9. 平木典子 2013 アサーション〈自己表現〉トレーニング 日本心理学会第77回大会
10. 平野智子・越川陽介他 2013 セラピスト・フォーカシングを用いたセルフ・ヘルプ・グループの試み 日本人間性心理学会第32回大会発表論文集, 98-99.
11. 堀 有伸 2013 福島県南相馬市での精神医療活動について 日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 28.
12. 藤 信子・関 百合他 2013 ワークショップ: 神経難病のコミュニティーグループ—筋萎縮性側索硬化症・脊髄小脳変性症・多系統萎縮症の患者・家族・支

C. 学会発表

1. 赤阪麻由 2013 難病者のサポート・グループの場の生成と展開—炎症性腸疾患患者を対象にしたグループの実践から— 日本人間性心理学会第32回大会発表論文集, 124-125.
2. 浅井健史・箕口雅博 2013 中学生に対するグループ運動表現療法の適用—体験内容の観点による有効性の検討— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 303.
3. 萩田博探・野村こずえ 2013 個人カウンセリングと集団的関わりを併行することの有益性(その2)—DV被害者支援と加害者のカウンセリングの連携— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 296.

- 援者の心理支援～ 日本集団精神療学会第30回大会抄録集, 34.
13. 井形 樹・林 弥生他 2013 地域の教育相談における発達支援としてのグループ活動(2) —発達障害のある思春期男子を対象とした社会参加支援の試み— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 654.
14. 池田真人 2013 コミュニティー体験とグループ体験—集団精神療法家と集団精神療法の課題として— 日本集団精神療学会大会抄録集, 50.
15. 糸井祐二・中村真太郎他 2013 ADLが自立している患者たちのグループ『お楽しみ会』の試みから 日本集団精神療学会大会抄録集, 43.
16. 岩田光宏 2013 ひきこもり者が初めて利用したグループワークの形式—グループワークにおける役割・交流の視点から— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 430.
17. 鴨澤あかね・嶋田博之 2013 ワークショップ：“機能的サブグループ (functional subgrouping)” を体験する 日本集団精神療学会第30回大会抄録集, 35.
18. 勝野米子 2013 精神科における長期入院者による創作活動グループ憩いを目的としたグループ活動の情緒的変化 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 249.
19. 桂麻理子 2013 地域精神科病院における集団認知行動療法の試み—さまざまな障害を背景に持つ参加者を対象としたプログラムの効果—日本心理臨床学会第32回大会論文集, 401.
20. 梶本浩史・高橋 馨他 2013 ワークショップ：こうえん 日本集団精神療学会第30回大会抄録集, 32.
21. 梶本浩史 2013 シンポジウム：グループに求めるもの 日本集団精神療学会第30回大会抄録集, 62.
22. 恵藤絢香・大隅香苗他 2013 発達障害児に対する集団式不安コントロールプログラムの効果(1) 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 116.
23. 木村唱子・栃尾順子他 2013 復職支援小グループの退行と回復のプロセス—here and nowの介入を巡って— 日本集団精神療学会第30回大会抄録集, 25.
24. 木村祐子・田所撰寿 2013 広汎性発達障害の子を持つ保護者の自助グループに関する研究 日本カウンセリング学会第46回大会
25. 岸岡智栄 2013 特別支援学級におけるアサーション・トレーニングプログラム開発の試み—発達障害児の自尊感情を育み, 自己表現の改善・向上を目指す心理療育について—日本心理臨床学会第32回大会論文集, 211.
26. 小林朋子・清水裕香他 2013 教師の要因によってソーシャルスキル・トレーニングの効果に違いが出るのか?—教師のビリーフが生徒のソーシャルスキルの変容に与える影響— 日本教育心理学会第55回総会
27. 古賀禎也・堀川百合子他 2013 病的ギャンブラーの自立をめぐる課題～家族関係とグループとの関係～ 日本集団精神療学会第30回大会抄録集, 29.
28. 小森康永 2013 特別講演：集団と家族, そのユビキタスなもの 日本集団精神療学会第30回大会抄録集, 20.

29. 小関俊祐・小関真実 2013 集団SSTが児童の攻撃行動と行動抑制/活性傾向に及ぼす効果 日本教育心理学会第55回総会
30. 高 富栄・森本松子他 2013 ワークショップ：急性期病棟・外来グループの実践と意義—病棟と、地域と、グループと—日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 33.
31. 熊谷芳美・林 弥生他 2013 地域の教育相談における発達支援としてのグループ活動(3) —グループ活動への継続参加による参加児童の変化— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 655.
32. 栗田真里・伊藤 満 2013 アルコール依存症を合併するうつ病に対する集団療法の効果 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 554.
33. 草柳和之 2013 DV加害者自助グループ15年の活動から見えてきたもの 日本カウンセリング学会第46回大会
34. 舩田容子・大垣祐歌 2013 長期入院患者を対象とした集団コラージュ療法の取り組みコミュニケーションの空間づくりの工夫としてご座を使用し、変化のみられた患者の事例 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 199.
35. 松村咲花・小銭寿子 2013 紙芝居を用いた体験グループにおける自尊感情の変化—A大学1.2年生を対象とした調査を通して— 日本集団精神療法学会大会抄録集, 48.
36. 三上 いづみ・小出美穂他 2013 永遠という時に浸る集団 日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 36.
37. 三上温子・佐名手三恵他 2013 情緒障害児短期治療施設におけるグループワークの試み その4 (中学校) 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 685.
38. 森田英誉 2013 青年期の広汎性発達障害者への集団心理療法青年期支援ユニットを通じて 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 239.
39. 村澤 和多里・原口麻子他 2013 ひきこもり青年を対象としたグループミーティング—スティグマ化のプロセスからの脱却— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 673.
40. 長江朱夏・増田雄太 2013 音楽からはじまる, 起こる, つながる—精神科入院治療における音楽療法の取り組み— 日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 44.
41. 日本教育心理学会 (第55回) 2013 ソーシャルスキルトレーニングを実践するための教育環境づくりとは
原田 恵里子・渡辺弥生 (企画者)
星 雄一郎・佐野和則他 (話題提供者)
日本教育心理学会第55回総会
42. 日本教育心理学会 (第55回) 2013 学校園における集団ソーシャルスキルトレーニング (ソーシャルスキル教育) —幼児期・児童期・青年期を対象とした新たな実践研究の展開—
本田真大 (企画者)
清水寿代・藤枝静暁他 (話題提供者)
日本教育心理学会第55回総会
43. 日本教育心理学会 (第55回) 2013 研究委員企画チュートリアルセミナー2 : 人権教育に関わるアサーション・トレーニング—「他相互尊重」を具現化

- するコツ—
吉田寿夫（企画者）
園田雅代（話題提供者）
日本教育心理学会第55回総会
44. 日本教育心理学会（第55回） 2013
ソーシャルスキルトレーニングの有効性が期待できる条件—教育の場でどのような時にSSTは有効なのか？—
嶋田洋徳・小関俊祐（企画者）
小関真実・田平 綾他（話題提供者）
日本教育心理学会第55回総会
45. 日本教育心理学会（第55回） 2013
授業の中でのアサーション・トレーニング—教育現場での実践より—
園田雅代（企画者）
黒木幸敏・志村結美他（話題提供者）
日本教育心理学会第55回総会
46. 日本集団精神療学会（第30回） 2013
シンポジウム：日本AAに求めるもの—一人のAAメンバーの意見として— 日本集団精神療学会第30回大会抄録集，64.
47. 日本集団精神療学会（第30回） 2013
シンポジウム 〈「コミュニティと集団精神療法」—グループに何を求めるか—〉
樋掛忠彦（司会）
武藤 隆（司会）
渡部京太（シンポジスト）
梶本浩史（シンポジスト）
月江ゆかり（シンポジスト）
ひいらぎ（シンポジスト）
日本集団精神療学会第30回大会抄録集，61-64.
48. 西澤佳代・田上不二夫 2013 対人関係ゲームによる学級の人間関係づくり
- (60) —単級のクラスで密かに進行していた「いじめ」を解消していった事例—
日本カウンセリング学会第46回大会
49. 新田耕佑・黒崎優美 2013 つながりによる安心な「まち」を目指して 原子価論に基づく主観的安心感尺度の作成と検証 日本集団精神療学会大会第30回大会抄録集，51.
50. 野島一彦・権 成鉉他 2013 ワークショップ：集団精神療法における転移—逆転移—複数の治療者という構造がグループに与える影響，治療者側が受ける影響— 精神科慢性疾患の力動的集団精神療法の会 日本集団精神療学会第30回大会抄録集，55.
51. 野村こずえ・萩田博探 2013 個人カウンセリングと集団的関わりを併行することの有益性（その1）—DV被害者援助を目的としたDV加害者への介入— 日本心理臨床学会第32回大会論文集，295.
52. 野村喜三枝・廣瀬寛子 2013 緩和医療における「遺族のためのサポートグループ」 日本カウンセリング学会第46回大会
53. 落合尚美・石附牧子 2013 グループが繋いできたもの 文化の異なる二つの小集団精神療法の実践から 日本集団精神療学会第30回大会抄録集，46.
54. 小倉正義・百々恵子他 2013 発達障害児に対する集団式不安コントロールプログラムの効果(2) プログラムの地域普及に向けて— 日本心理臨床学会第32回大会論文集，117.
55. 重田理佐 2013 デイケア心理教育プログラムでのフリートークの意義—病者

- の思いを共有すること— 日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 41.
56. 大江真智子・菊島勝也 2013 労働者の精神的健康の向上に関するストレスマネジメントプログラムの作成と実践の試み—介護職員を対象としたプログラムにおけるホームワークへの取り組みと関心度との関連について— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 631.
57. 大越拓郎・樋掛忠彦他 2013 アルコール依存症の入院治療病棟における「心理ミーティング」の試み 日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 57.
58. 太田倫代 2013 グループが再生を踏み出すとき—デイケア集団音楽療法の中で— 日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 56.
59. 大和田攝子・大和田康二 2013 遺族サポートグループが参加者の人間的成長に及ぼす影響 日本心理学会第77回大会
60. 佐名手三恵・三上温子他 2013 情緒障害児短期治療施設におけるグループワークの試み その4 (小学校) 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 684.
61. 猿渡英代子・安曇真紀他 2013 多職種によるピア・グループスーパーヴィジョンの実践 日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 27.
62. 佐々木大輔 2013 TRPGを利用した社会的スキルトレーニングは可能か 日本心理学会第77回大会
63. 関 百合・水田博子 2013 ワークショップ：グループアナリシス・体験グループワークワークショップ—メディアングループのなかで集団と個人を語り合う— 日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 54.
64. 関根知彦・塩田このみ他 2013 成人PDD者を対象としたグループ療法の開発とモデル化について—クリニックでの自己理解・セルフエスティームの回復・社会とのつながりを目指した支援の試み— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 27.
65. 白水 信 2013 ひきこもり経験者の自己概念と問題意識—自助グループにおける語り合いから— 日本人間性心理学会第32回大会発表論文集, 122-123.
66. 柴田応介・工藤 剛他 2013 グループにおける観測問題—グループの基底的想定とリーダーシップとのかかわり— 日本集団精神療法学会大会抄録集, 49.
67. 杉浦崇仁・村山正治他 2013 精神科デイケアにおけるPCAグループの試み 日本人間性心理学会第32回大会発表論文集, 180-181.
68. 諏訪部亮一 2013 発達障害を持つ成人への集団療法—同じ診断を持つ参加者と関わる事で得られる情緒的交流と自己理解— 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 26.
69. 田原明夫・藤 信子他 2013 ワークショップ：東日本大震災関係者相互支援グループの経過報告と今後を考える2 日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 53.
70. 高橋 馨 2013 こもれびミーティングがもたらしたもの—ワタシにカッコをつけないで— 日本集団精神療法学会第30回大会抄録集, 42.
71. 谷井淳一 2013 主役へのウォーミングアップ尺度の開発(2) —連続8回のサ

- イコドラマセッションにおける主役準備性の変化— 日本教育心理学会第55回総会
72. 田山 淳 2013 大学新入生に対するうつ予防効果を目的とした集団認知行動療法の効果 日本カウンセリング学会第46回大会
73. 手塚千恵子・田中優子 2013 地域で実施され、精神的に方向づけられた子ども虐待防止母親グループ 日本集団精神療学会第30回大会抄録集, 47.
74. 月江ゆかり 2013 シンポジウム：看護師が行うグループにこだわって 日本集団精神療学会第30回大会抄録集, 63.
75. 上原貴夫 2013 キャンプ・カウンセリングに関する研究(5) —不登校や障がいなどの小中学生を対象としたキャンプにおける「導入部」について— 日本教育心理学会第55回総会
76. 若林邦江・馬場安希 2013 心療内科病棟における摂食障害患者向け集団療法の実践多職種チームにおける心理職の役割 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 234.
77. 渡部京太 2013 シンポジウム：グループに求めること—児童精神科病棟の子どもの変化からみえてくること— 日本集団精神療学会第30回大会抄録集, 61.
78. 山口まどか・堀川公平他 2013 入院治療期間の短縮化と患者—スタッフミーティング 日本集団精神療学会大会抄録集, 45.
79. 山本智美・黒田浩司 2013 うつ病休職者のリワークプログラムにおける心理的变化 日本心理臨床学会第32回大会論文集, 413.
80. 山下陽三 2013 「鳥取ダルクを見守る会」の5年間を振り返る 日本集団精神療学会第30回大会抄録集, 37.
81. 安田淑恵・平木典子 2013 アサーション・トレーニングが勤労者のメンタルヘルスに与える影響に関する検討 日本産業カウンセリング学会第18回金沢大会
82. 安里勝人・原由香里 2013 当院におけるアルコール依存症入院治療プログラムと自助グループとの連携について グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いた自助グループへ繋がるプロセスの探索 日本集団精神療学会第30回大会抄録集, 30.
83. 横山太範・岡島美朗他 2013 ワークショップ：多様化するうつ病に対する集団精神療法(2) —集団認知行動療法, バーバルグループ, アクショングループの比較— 日本集団精神療学会第30回大会抄録集, 52.

D. 翻訳

〔該当文献なし〕

E. 書評

1. 西村 馨 2013 特集2 「東日本大震災からの復興に向けて (第2報)」に寄せて 集団精神療法, 29(1), 45-46.
2. 白波瀬丈一郎 2013 特集1 産業メンタルヘルス活動に『集団』を活かす 特集にあたって 集団精神療法, 29(1), 7-8.

F. 海外文献紹介

1. 鴨澤あかね 2013 SCT-システム・センター・グループサイコセラピー：リビング・ヒューマン・システム論とシステム・センターの実践（後編）（Agazarian, Y.M. (2012) Systems-centered group psychotherapy: A theory of living human systems and its systems-centered practice, The Journal of the Eastern Group Psychotherapy Society, 36(1), 19-36.) 集団精神療法, 29(1), 80-86.
2. 川村良枝 2013 集団精神療法における退行の概念 (Scheidlinger, S. (1968) The concept of regression in group therapy, international Journal of Group Psychotherapy, 18, 2-20.) 集団精神療法, 29(2), 276-281.
3. 岡島美朗 2013 転移のある乳癌患者の生存期間への心理社会的治療の効果 (Spiegel, D. et al. (1989) Effect of Psychosocial treatment on patients with metastatic breast cancer, The Lancet, 2, 888-891.) 集団精神療法, 29(1), 87-90.
4. 嶋田博之 2013 愚痴から戦略へ：システムの力動を学ぶ実習の場としての全職員会議の活用 (Gibbons, D. (2005) From complaints to strategies: Using agency's all-staff meetings as a learning lab for understanding system dynamics. In Gantt S.A., and Agazarian Y.M. (Eds.), SCT in action: Applying the systems-centered approach in organization. Lincoln: iUniverse, 65-79.) 集団精神療法, 29(2), 269-275.

付：「集団精神療法」に関する文献リスト〔～2012〕の追録

A. 単行本

〔該当文献なし〕

B. 研究論文

1. 藤野正和・田中沙来人・遠矢浩一・針塚 進 2012 発達障害児のための集団心理療法「もくもくグループ」の検討—グループ参加者に対する予後調査—九州大学総合臨床心理研究, 4, 11-17.
2. 後藤清恵 2012 グループは大地 集団精神療法, 28(2), 269.
3. 服部隆志・塩見沙織他 2012 青年期の不登校・ひきこもりに対するSSTの実践 心理臨床学研究, 30(4), 513-523.
4. 堀 有伸 2012 全体性への誘惑に抗して 集団精神療法, 28(1), 41-47.
5. 星野法昭 2012 私の仕事とグループ 集団精神療法, 28(1), 38.
6. 藤田貴士 2012 幻聴妄想かるたから thank you-risk 集団精神療法, 28(2), 264.
7. 稲村 茂 2012 被災者支援で生かされるグループの視点 集団精神療法, 28(1), 32-38.
8. 井上麻紀 2012 師匠がくださった言葉 集団精神療法, 28(1), 80.
9. 磯田雄二郎 2012 器としてのグループ作り—統合失調症のグループ8年間の振り返り— 集団精神療法, 28(1), 62-66.
10. 甲斐千晶・遠矢浩一他 2012 対人関係に困難を有する子どもの行動特徴と保護者の精神的健康度の関連について—集団遊戯療法「もくもくグループ」を卒業した児童に関する予後調査より—九州大学総合臨床心理研究, 4, 19-24.

11. 鍛冶美幸 2012 スクールカウンセラーの学校集団適応過程に関する一考察—境界人における多重集団所属の概念を用いて— 集団精神療法, 28(1), 67-73.
12. 鎌田明日香 2012 出会いの予感 集団精神療法, 28(2), 289.
13. 狩野力八郎 2012 安んじて精神療法を実践する 集団精神療法, 28(2), 1999.
14. 片山泰生 2012 学会入会と、今ここで思い出すこと 集団精神療法, 28(1), 22.
15. 北島歩美・安藤由紀子他 2011 2011年度 グループ・セミナー活動の実践報告 日本女子大学カウンセリングセンター報告書35号 (2011) 30-37.
16. 古賀 恵里子 2012 15th European Symposium in Group Analysis 集団精神療法, 28(1), 81-82.
17. 小谷英文 2012 巻頭言：震災復興支援の力と集団 集団精神療法, 28(1), 5-7.
18. 小山徹平・山本佳子他 2012 妄想幻聴症状に対する集団セッションの効果の検討—心理教育, ロールプレイ技法が認知変容に及ぼした効果の比較— 精神療法, 38(5), 99-104.
19. 水田博子 2012 (有)東京集団精神療法研究所 (Institute of Tokyo Group and Individual Psychotherapy) の活動 集団精神療法, 28(1), 83-84.
20. 本吉 菜つみ・遠矢浩一他 2012 対人関係に困難を有する児童・生徒の行動特徴の変化—集団心理療法「もくもくグループ」在籍時と卒業後のCBCL得点の比較から— 九州大学総合臨床心理研究, 4, 25-33
21. 西川昌弘・高林健示他 2012 東日本大震災関係者のための相互支援グループ I—3月11日から8カ月に於ける初期作業位相でのグループ主題— 集団精神療法, 28(1), 16-23.
22. 西村 馨 2012 特集「東日本大震災からの復興に向けて (第1報)」に寄せて 集団精神療法, 28(1), 8-9.
23. 岡島純子・鈴木伸一 2012 自閉症スペクトラム障害児に対する社会的スキル訓練—欧米との比較による日本における現状と課題— カウンセリング研究, 45(4), 229-238.
24. 小澤永治・遠矢浩一他 2012 発達障害児のための集団心理療法「もくもくグループ」の意義と課題①—卒業生を対象とした知能検査および面接調査から— 九州大学総合臨床心理研究, 4, 35-44.
25. 小澤永治・遠矢浩一他 2012 発達障害児のための集団心理療法「もくもくグループ」の意義と課題②—卒業生の保護者を対象とした面接調査から— 九州大学総合臨床心理研究, 4, 45-59.
26. 齊藤英二 2012 特集にあたって 集団精神療法, 28(1), 39-40.
27. 「集団精神療法」(第28巻第1号) 2012 <特集1 東日本大震災からの復興に向けて (第1報)>
 特集「東日本大震災からの復興に向けて (第1報)」に寄せて (西村 馨)
 被災地の体験から (宇田川 一夫)
 東日本大震災のための相互支援グループ I (西川昌弘他)
 東日本大震災でのこころのケアと

PTSD (田辺 等)

被災者支援で生かされるグループの視点 (稲村 茂)

集団精神療法, 28(1), 8-38.

28. 「集団精神療法」(第28巻第1号) 2012
＜特集2 統合失調症のグループの現在＞

統合失調症のグループの現在 (齋藤英二)

全体性への誘惑に抗して (堀 有伸)

精神科病院男子閉鎖病棟でのコミュニティーミーティング-シナリオで示す集団精神療法の実際- (高林健示)

器としてのグループ作り-統合失調症のグループ8年間の振り返り- (磯田雄二郎)

集団精神療法, 28(1), 39-66.

29. 菅 武史 2012 水の中のグループ

集団精神療法, 28(1), 78.

30. 田辺 等 2012 東日本大震災でのこのころのケア活動とPTSD 集団精神療法, 28(1), 24-31.

31. 高林健示 2012 精神科病院男子閉鎖病棟でのコミュニティーミーティング-シナリオで示す集団精神療法の実際- 集団精神療法, 28(1), 48-55.

32. 田中沙来人・小澤永治他 2012 発達障害児のための集団心理療法「もくもくグループ」の検討-CBCL・WISCⅢによる子どもの行動特徴と認知的特徴の縦断的検討- 九州大学総合臨床心理研究, 4, 69-75.

33. 谷井淳一 2012 サイコドラマ効果測定尺度の作成 カウンセリング研究, 45(2), 111-122.

34. 宇田川一夫 2012 被災地の体験から

集団精神療法, 28(1), 10-15.

35. 吉川桃子・遠矢浩一他 2012 発達障害児のための集団心理療法「もくもくグループ」における「親の会」の意義と課題-卒業生の保護者を対象とした「親の会」での体験に関する追跡調査から- 九州大学総合臨床心理研究, 4, 77-85.
36. 義村 勝 2012 リワークに於ける精神力動的な患者理解 集団精神療法, 28(2), 228.
37. 座間味愛理・遠矢浩一他 2012 発達障害を有する青年の適応と課題-集団心理療法「もくもくグループ」の終結者を対象とした追跡調査から- 九州大学総合臨床心理研究, 4, 87-97.

C. 学会発表

1. 日本心理臨床学会 (第31回) 2012 自主シンポジウム〈BIONの臨床を学ぶ-基本的な概念の理解Ⅳ-〉
Med Hafsi (企画者)
別所崇 (司会者)
Med Hafsi・小畑千晴・黒崎優美・笹内美里 (話題提供者)
日本心理臨床学会第31回大会論文集, 741.

D. 翻訳

[該当文献なし]

E. 書評

1. 巖崎秀章 2012 野島一彦監修:『グループ臨床家を育てる-ファシリテーションを学ぶシステム・活かすプロセス-』 集団精神療法, 28(1), 79-80.

F. 海外文献紹介

1. 塚瀬将之 2012 精神病患者グループ
における治療要因 (Garcia-Cabeza, I. et
al. (2011) Therapeutic factors in patient
groups with psychosis, Group Analysis,
44(4), 421-438.) 集団精神療法, 28
(1), 74-78.

〔お願い〕

リストに収録した文献の記述上の誤りを
見つけられた方、もれている文献を御存知

の方は、筆者まで御連絡願えれば幸いであ
る。

連絡先 〒352-8501 埼玉県新座市中野 1
- 9 - 6 跡見学園女子大学文学部
野島一彦
TEL 048-478-4252
FAX 048-478-3475
E-mail nojima@atomi.ac.jp
URL [thhp://nojimakazuhiko.
jimdo.com/](http://nojimakazuhiko.jimdo.com/)